



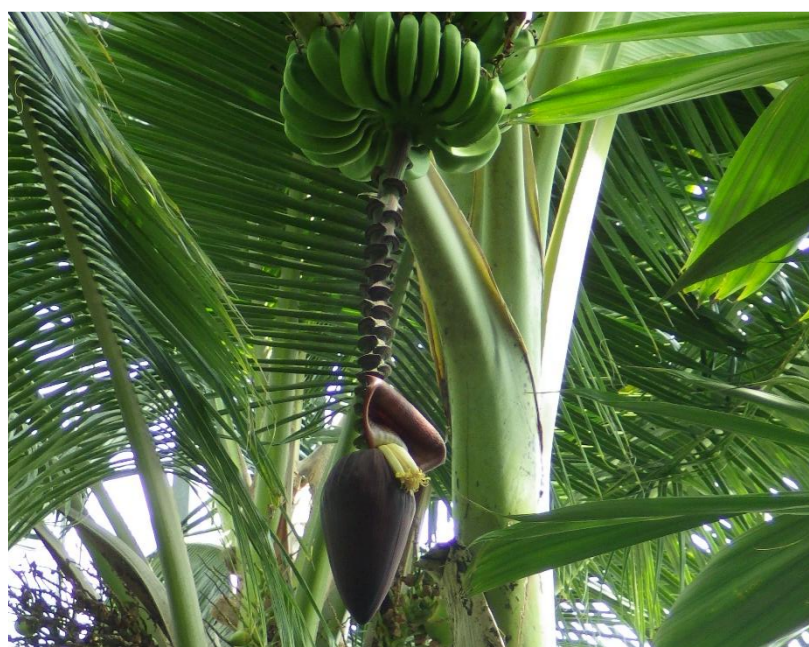
1位 琉球の植物各種



2位 ヒスイカズラ



3位 カカオ



トピックス バナナ

植物多様性を知る・守る・伝える 筑波実験植物園

温室のみごろ植物

第1066号 2026年4月24日 次号予定5/1

今週のベスト3!

黄色い札が目印です

1位 多目的温室では、シマアケボノソウ、アマミマツバボタン、ケラマツツジなど、琉球列島に生きる貴重な植物を展示しています。

2位 ヒスイカズラ 翡翠色の花が咲いています。あちこちにつぼみが出ています。

3位 カカオ ラグビーボールのような形をした実が幹についています(幹生果:かんせいか、と呼ばれます)。



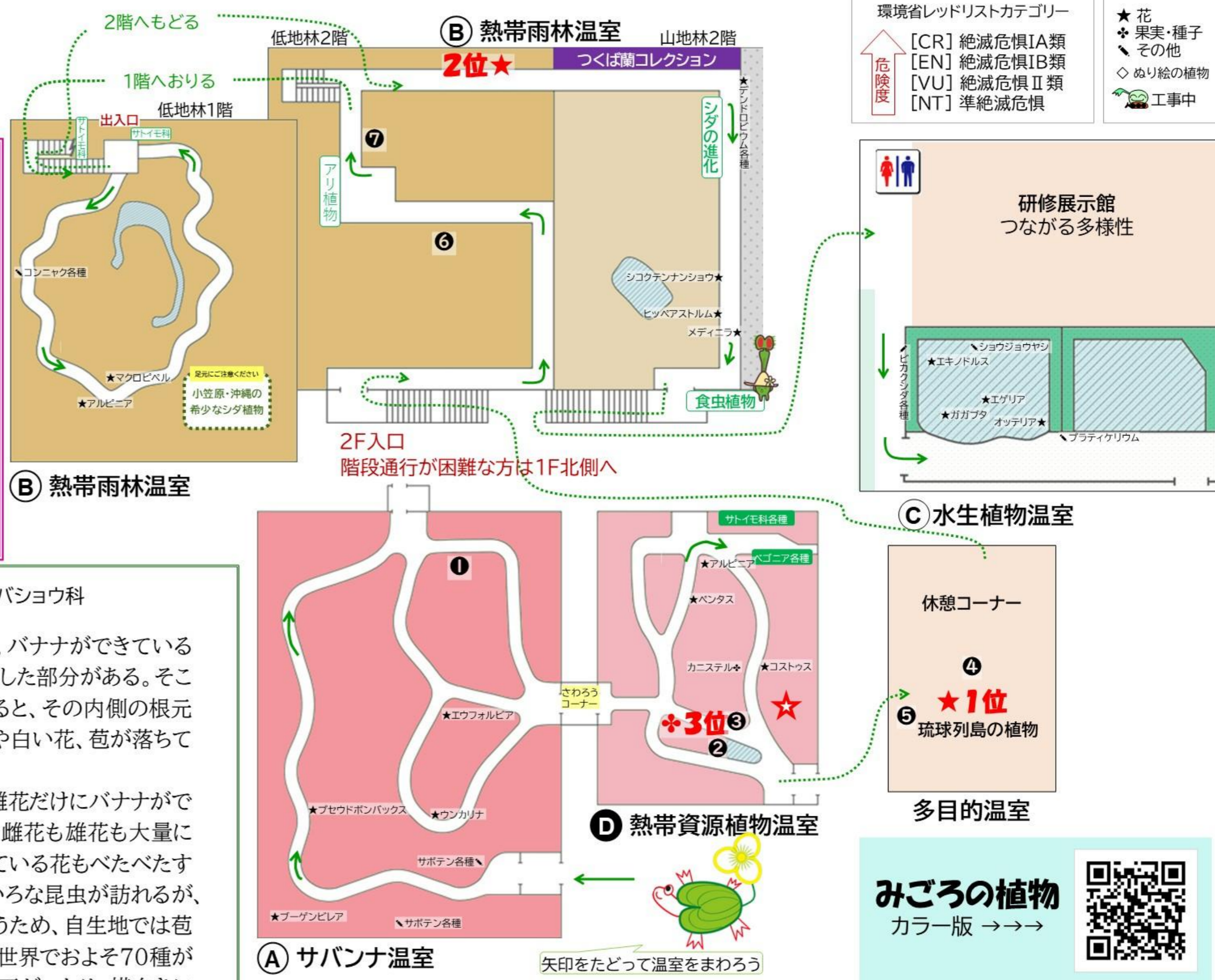
じゅもーく先生トピックス ★バナナ *Musa spp.* バショウ科

温室でバナナを見つけたら、ぜひ花も探して見てほしい。バナナができていく茎(花序と呼ぶ)を先の方へとたどると、筆のような格好をした部分がある。そこに花がある。紫がかった葉(苞とよぶ)が運良く開いていると、その内側の根元に小さな花が並んでいるのが見える。近くの地面に黄色や白い花、苞が落ちていることもある。

バナナの花序では、雌花が数回咲いた後で雄花が咲く。雌花だけにバナナができるので、長くのびた花序の基部にだけバナナができる。雌花も雄花も大量に蜜を出す、雌花のほうが多くしたたるほどである。落ちている花もべたべたする。蜜はねっとりとして非常に甘い。昼間はアリなどいろいろな昆虫が訪れるが、花粉を運ぶのは主にコウモリである。苞にとまって蜜を吸うため、自生地では苞にコウモリの爪痕がついているそうだ。バナナの野生種は世界でおよそ70種が知られるが、花序が立ち上がる種類は鳥が、花序が垂れ下がったり、横向きに伸びる種類はコウモリが主に花粉を運ぶと考えられている。バナナの野生種は受粉しないと十分バナナが育たず、受粉して育ったバナナは中に黒い種子が多数あり、食べられる部分がほとんどない。しかしバナナの栽培品種は、受粉せずともバナナが育ち、バナナの中に種子ができないものを野生種から選び抜いたものである。植物園ではバナナの野生種(トラフバショウやリュウキュウイトバショウなど)と栽培品種(アカバナナ、サンジャクバナナなど)の両方が見られる。

筑波実験植物園 | 植物研究部 多様性解析・保全グループ 堤千絵

見ごろ期間の短いものもあります。ご了承ください。



- ① ブルーファンフラワー 扇状に広がる花の形から名前がつけました。
- ② レモン‘ポンデローザ’ 大きい実がいっぱいになっています。
- ③ カンキチク 葉のように平べったい茎に白く小さい小さい花が咲いています。
- ④ キキョウラン 長く伸びた花茎の先に花が揺れ可愛いです。ランではなくワスレグサ科の植物です。
- ⑤ ハナコミカンボク[EN] 小さな花が並んで咲いています。
- ⑥ アコウ 新芽が開いています。きれいな白色の花びらに見えるのは苞です。
- ⑦ ミルメコフィラ・グランディフロラ 花茎を反対側まで伸ばし鮮やかな花を咲かせています。